

# アークナイツの恋愛イベントを捏造してみた

通りすがりの熾天龍

アークナイツの女の子たちが魅力的すぎるので恋愛させたい

# 目次

ズイマー	23
タルラ	15
アーミヤ	9
モステイマ	1



## モステイマ

相手はオリキャラのトランスポーターもしくは旅人ということだ。

ちなみに、うちのモステイマは昇進1です。(金欠&素材不足)

昇進2の画像をネットで見たけど、よく見ると舌が青いんですね。

やあ、来てくれたね。

龍門に着いたばかりなのに、急に呼び出してごめんね。

ここまで来るの、少し大変だったよね。道もちょっと複雑だし。

なんとなくだけど、この場所で君とゆっくり話したくなってね。

ここは龍門の中でも特に夜景がいい場所なんだ。

ほら、見てごらんよ。夜の街並みと星空の両方が凄く綺麗に見える。

それにここは静かだし、いい雰囲気だと思わないかい？

実はちょっといいワインも持ってきてるんだ。一緒に飲もう。

え？いや、まだ酔ってないって。まだこのワインも開けてないよ？

私の顔、そんなに赤くなってるのかい？

あはは・・・まいったな。こんなに緊張するなんて私の柄じゃないのに。

・・・うん、だったらすぐ本題に入った方がいいかな。

ん？ああ、そうだよ。本当は呼び出したのはただ何となくではないんだ。

でもちよつと待ってて、私が落ち着かないと・・・。

すう、はあ。

それじゃあ、言うよ。

君が、好きだ。

・・・あ、困惑してるね？

まあ、気持ちはわかるよ。

私自身、他人に深入りしない主義だからね。

でも、しょうがないじゃないか。それでも、好きになってしまったんだからね。

理由、かい？

うーん、理由と言うかきっかけになるけど・・・。

ほら、覚えているかな？私がちよっと頑張りすぎて倒れちゃったときのこと。

あの時、たまたま通りがかった君が私を背負って運んでくれたよね。

実は背負われている間のこと、ぼんやりとだけ覚えてるんだ。

・ ・ ・ 君の背中が、暖かったこと。

それからかな。

旅先で、ついつい君の姿を探したり。

偶然会えた時は、いつの間にか君を目で追ったり。

君と話をするのが楽しくて仕方がなかったり。

まあ、私自身、あまり自覚はなかったけどね。

自覚をしたのはつい昨日かな。

エクシア達に旅の話とかを色々聞かれてね。

で、君の話になったときに、それが惚気にしか聞こえなかったらしくてね。

・ ・ ・ うん、指摘されたよ。私が君に恋をしているんだってこと。

言われた時は結構恥ずかしかったよ。

でも、それ以上に、納得した。

今日君が龍門に着くのもあって、ソラがはしゃいでいてね。

すぐにでも告白するべきだって言われたよ。

納得してくれたかな？

・・・それじゃあ、改めて言うね。それはそれで照れ臭いけど。

私は、君のことが好きだ。

ずっと、君と一緒に居たい。

・・・ありがとう。

ふふ、これからは恋人同士、か。

・・・なんだか嬉しいな。

自分でも驚いたよ。私の中に、まだこんな感情があったなんて。

今までこんな感情は不要だと思ってたけど、そんなことはないみたいだ。

これからのことかい？

そうだな・・・、どこに行くときも君と一緒に居たい。

恋人らしいことも、いろいろしたいな。

例えば？ そうだね、キスしたり、デートしたり、とか・・・。

んうっ!?

ふ、不意打ちはズルいじゃないか・・・!

・・・嫌なんて、そんなわけないけれど・・・。

・・・。

ねえ、もう一度、キスして欲しいな。

今度は不意打ちじゃなくて。

ん・・・。

まって、今は顔を見ないで。

今の私の顔、絶対今までにないくらい赤くなってると思う。  
わ、急に抱きしめるのは・・・っ。

・・・っ！

い、今その言葉は卑怯だよ。

そりゃあ、確かに嬉しいけれど・・・。

・・・うん。

私も愛してる・・・○○。

---

モステイマは絶対恋愛事には耐性ないゾ

すこ（直球）

## アーミヤ

遅れてすまヌ。

思った以上に難航しました。

日常会話難しい。

アーミヤのお相手といったらドクターしかないな！

失礼します、ドクター。

遅くまでお疲れ様です。

お仕事の方はどうですか？

あ、終わっているみたいですね。よかった。

はい。そろそろ終わるころかなと思いましたが、差し入れにお菓子を持ってきました。

この後空いていたら、何ですけど、お喋りしながら一緒に食べませんか？

えへへ、ありがとうございます。ドクター。

はい。どうぞ。ドライフルーツ入りのクッキーです。

甘すぎないし、サクサクしてて美味しいですよ。

お茶もどうぞ。こっちはペットボトル飲料ですけどね。

どうです？クッキー、お口に合いますか？

ありがとうございます。嬉しいです。

はい。実はそうなんです。

グムさんに教えてもらって、私が作りました。

今度エクシアさんにアップルパイの作り方を教えてもらおう予定なんですよ。上手くできるようになったら、ドクターにも食べてもらいたいです。

いえ、以前はお菓子作りに手を出すことはありませんでした。

チェルノボーグの件で逃げ出した多くの人がロドスに来て・・・。

新人教育の手間は確かにありますけど、人手が一気に増えたのは確かです。

おかげで、私の仕事も少し余裕ができるようになりました。

お料理とかお菓子作りは、以前からやってみたかったですよ。

次の目標は、ドクターに私の手料理を食べてもらうことです。

いえ、余裕がなかったのはドクターが不在になる前からです。

・・・確かに、ドクターが居ない間、それ以前よりも大変でした。

戦闘指揮はケルシー先生が変わってくれましたが、流石にドクターには及ばなくて・・・。

ロドスの戦場介入の範囲は、実はその間に縮小しているんです。

仕事に余裕ができたのは、その仕事が少し減っているのもあるかもしれませんがね。

ドクター、謝らないでください。

・・・こんなこと言うのもなんですけど、実は私、ドクターが記憶を失ってよかつ

たのかもしれないって思うんです。

以前のドクターは、戦場では苛烈な人でした。

味方の犠牲も顧みず、ただ勝利することだけを追い求めていました。

今のドクターは、絶対に味方の犠牲を出さない、その意志が固いですよね。

戦争マシーンになる前の、優しくかったころのドクターが帰ってきたような気がして、嬉しかった・・・。

ドクターは、もう思い出さない方が、幸せかもしれません・・・。

く、暗い話になっちゃいましたね。

この話はここまでにしましょう。

大丈夫です。記憶がなくなっても、ドクターの指揮は全く衰えていませんから。

あ、そうだ。ドクター、明日の休日は何か予定はありますか？

はい。明日、二人でお出かけしたいなと思ひまして。

チェンさんとスワイヤーさんに龍門の有名なデー・・・観光名所を教えてくださいまして。

え？私の休日ですか？

あはは・・・実はドクターの休日に合わせたくてずらしちゃいました。

職権乱用、は・・・確かにそうかもしれませんが・・・。

た、たまにはいいじゃないですか。その分ちゃんと後でやりますから・・・。

それで、その、どうですか？明日・・・。

えへへ、ありがとうございます。ドクター。

今からもう明日が楽しみです。

あつ、もうこんな時間なんですか。

早く寝ないと明日起きれなくなっちゃいますね。

私、もう戻ります。ドクターも早く寝てくださいね。

そうだ、お皿返しに行かなきゃ。

それでは、おやすみなさい。ドクター。

明日は晴れるといいですね！

---

アーミヤは健気可愛い。すこ（直球）

関係ないけど今イベEX・7で挫折しました。

そして強襲は1個もクリアできてません。

今日は泣き寝入りします。

## タルラ

なんやかんやあってヤンデレなタルラに誘拐されたドクター。  
タルラちゃんもつと病ませたい。

・ ・ ・ ん？

目が覚めたか。

ここはレユニオン本部の私の私室だ。

あまり変に動こうとするなよ。

割ときつめに縛り付けているからな。

下手に動けば、体を痛めるだけだ。

・ ・ ・ 「お前たちの目的」か。それは違うな。

お前を連れてきたのは「我々」の目的ではなく「私」の目的だ。

確かにお前の知る医学や戦術の知識は魅力的だ。

だがそれらの知識はお前が自主的に言うまで放置するつもりだ。

もちろん、尋問などしない。他の誰が言おうが私がさせないとも。

私の目的はそんなものではなく、お前自身だ。ドクター ■■■。

私が欲するのはお前の存在そのものだ。

・ ・ ・あまり抽象的だと理解できないか。ならばはっきり言おう。

私はお前に惚れている。狂おしいほどにな。

・ ・ ・困惑するか。まあそうだろうな。

お前と私の間には個人的な接点など皆無に等しい。

初めてお前を見たのは戦場でだ。

数年ほど前だったな。詳しくは私も覚えていない。

私も戦場に出たのは数えきれないほどだからな。

何度か戦場で見かけるうちに、自然とお前のことを目で追っていたんだ。

個性の強い戦士達を纏め上げる技量と、戦闘能力を持たないというのに堂々とした立ち振る舞い。

お前のその強さに、いつの間にか惚れていたんだ。

もうわかっただろう。

私がお前を連れてきたのは、お前を私のものにするためだ。

お前の身も心も、私だけのものになりたい。

その代わり、私も、私の全てをお前に捧げよう。

おとなしく私のものになれ。そうすれば、ある程度の自由は認めよう。

ん・・・っ。

ふ、ああ・・・。

軽いキス一つで、こんなにも昂るのか。

初めてを捧げるといふことが、ここまで嬉しいことだとはな。

ああ、もちろん、ファーストキスだ。

当然だろう？ 私なら、私の身体を狙う輩など容易く焼き払える。

当然、私は処女だ。

この処女も含めて私の身体はお前のものだ。お前だけに全て捧げよう。

・・・やはり、少しやつれているな。

確か、チェルノボーグでずっと危篤状態だったのだろうか？

完全に回復していないのだな。

安心しろ、私が丹精込めてお前の食事を用意してやる。

こう見えて練習はそれなりにしているからな。

味も栄養も人に出せるくらいには上達している。

ロドスが心配か？

なら、やりあわないようにすればいい。

ロドスと出くわしたら即座に撤退させれば、こちらでも戦力を削らずに済む。

何せ、ロドスには厄介な相手が多いからな。

例えお前がいなくても、常に我々の被害は甚大になる。

最強の指揮官が居ない分、まだだいぶマシにはなるがな。

お前が手に入った以上、奴らとの直接戦闘はほぼ意味がない。少なくとも、私にとってはない。

だが、他のメンバーはそうはいかないか。

まあ、戦力を最大限温存するという方針を出せば暫くは大丈夫か。

意外か？

だが私の目的はお前だ。

こちらから積極的にロドスとやりあえば、お前の心は私から離れていく。

傍から見て愛に狂っているように見えようと、それが解らないほど愚かではない。

ただ、他にどうしようもなくなれば全面対決も必要になるだろうな。

・・・どう足掻いてもその時は必ず来てしまう。

ならばそうなる時を少しでも遅らせ、その間にお前の心を手に入れる。

悪いが、逃がすつもりはないぞ。

部下に見つかって殺されるような事故もないように、部屋からも出さないようにしないと。

お前の食事は全て私が用意してやる。そうだな、口移しで食べさせるのもいいかもしれない。

風呂には連れていけないが、代わりに私が体を拭いてやる。

鎖で繋がれたままでは難しいだろうから私が着替えを手伝ってやる。

顔を合わせていいのも、会話をしていいのも、私と以外許さない。

そういう生活を続けさせれば、いずれお前は私無しでは生きられなくなる。そうだろう？

お前が全てを私に委ねさえすれば、私も安心してお前に全てを委ねられる。

ああ、楽しみだ。早くそうなって欲しい。

お前と二人でやりたいことは数えきれないほどあるんだ。

スウ——・・・ハア・・・

ああ、匂い一つすらも、こんなにも愛おしい。

もつと・・・もつとお前を全身で感じたい・・・。

ふふ・・・愛しているぞ、  
■ ■ ■ 。

やっぱヤンデレは最高だな！

病み切ったタルラちゃんに全力で愛されたいです。

ネットでドクターを鎖でつないで監禁するタルラのイラストを見かけて思いついたので書きました。

しかし保存する前に当のイラストを見失ってしまったので見つけたら教えてください。さい。

タルラは傷害型には絶対ならないと思う。

というか素の火力が高すぎるから一歩間違えたら即死とかありそうだしその辺は慎重にならざるを得ないと思う。

今日からイベント始まりましたね。

みんな、頑張ろうな。

## ズイマー

チエルノボーグ脱出前のひと時です。

お相手はオリキャラの男子学生ということ。

よお。ここにいたのか。

・・・オマエも聞いたろ？

チエルノボーグ脱出部隊の総司令、アタシがやることになった。

オマエは殿部隊に志願したんだろ？

確かにお前の戦闘スタイルは攪乱に向いてはいる。

だけだよ・・・レユニオンの奴らはマジでヤベエぞ・・・。

今までの、学園間での抗争とはわけが違う。

・・・あー、確かにそうだな。それは全員に言えることだな。

戦える奴はどの役割も、マジで覚悟しなきゃなんねえのな。

だけど殿って一番危険だからな。気を付けろよ。

あ？震えてる？アタシが？

・・・ハッ。そんなわけねえだろ・・・。

・・・悪い、今のは流石に強がりだ・・・。

ああ。確かにビビってるよ。

アタシたちはこれから桁違いにヤベェ奴らとやりあわなきゃなんねえ。

しかも戦えない奴らを守りながらだ。

あんな強え奴らとやりあったことなんてねえし、誰かを、しかも大勢を守りながらなんてことも初めてだ。

そんな中の総司令だぜ？

責任の重さが桁違いだ。

・・・重いんだよ。重すぎるんだよ・・・っ！

どうしてアタシなんだ！

何で奴らはあんなことをするんだ！

隣のシマのボスも同盟相手のトップも奴らに殺された！

しかも戦えない女子供まで平気で巻き込みやがって！

その上予報もなく天災まで来るとかふざけんじゃねえよ！

．．．はあ、はあ．．．．．。

怖い．．．。

もうなんもかもめっちゃくちゃで．．．。

仲が良かった奴も何人も殺されて．．．。

あんな残酷なことを、平気で．．．。

悪い．．．。

少しだけ、少しの間だけでいいんだ．．．。

アタシを抱きしめてくれ．．．。

．．．サンキュ。

はは・・・、こんな情けない姿、オマエにしか見せられねえな・・・。  
こうしてると、いっそもかも投げ捨てて、泣きわめきたいなんて思っちまう。  
そうしても・・・許されるかな・・・。

あ、やっぱ言わなくていい。

オマエに許されたら、本当に泣き出しちまう・・・。  
泣いちゃったらもう、アタシはマジで折れちまうから。

・・・でも、もうちょっとだけ、このままで・・・。

・・・ああ、そろそろ時間だな。

しょうがねえ。行くか。

ああ、やるよ。決まったからにはぜってえやり遂げてやる。  
生きて、守って、ロドスまで辿り着いて見せる。

アタシは、絶対に死なねえ。

だからよ、オマエも死ぬんじゃないぞ。

もし死んだりしたら、あの世まで追いかけてってぶん殴ってやる。

総司令の立場やあいつらへの責任を放り投げてでもだ。

・ ・ ・ ・ ・  
なあ、ロドスで合流した後、さ ・ ・ ・  
・ ・ ・ 悪い、今のなし。

———  
死ぬなよ、相棒。

強い女の子が気を許した唯一の相手にだけ見せられる弱さってエモいと思う。  
学生同士の抗争から町全体の住人の命がかかった戦争の落差ってヤバイよね。

そんな中で責任が重い立場になったらもう胃がマッハですよ。

そんな立場にズィマー姉貴を押し上げた代わりにオリキャラ君に心のよりどころ  
になってもらいました。

この後オリキャラ君が生き残るかどうかはご想像にお任せします。

無事合流して感極まってオリキャラ君に抱き着きながらガチ泣きするのも美味しい。

訃報が届いてその場で自殺しようとしたら周囲に全力で止められて絶望のどん底からのガチ泣きも美味しい。

・ ・ ・ごめん俺が気の強い娘をガチ泣きさせたいだけだわ。

# アークナイツの恋愛イベントを捏造してみた

---

著者 通りすがりの熾天龍

発行日 2022年3月16日

ハーメルン -SS・小説投稿サイト-

<https://syosetu.org/novel/226666/>

本書の内容を無許可で転載・複写・複製することは、禁じられております。